



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 i s p a c e
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 袴 田 武 史
(コード番号：9348 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取締役 CFO 兼 事業統括 野 崎 順 平
エ グ ゼ ク テ ィ ブ
(TEL. 03-6277-6451)

**(開示事項の経過) 宇宙戦略基金第二期（月極域における高精度着陸技術）補助金
交付決定のお知らせ**

当社は、2026 年 1 月 16 日付「宇宙戦略基金第二期（月極域における高精度着陸技術）採択のお知らせ」において、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下、JAXA）によって公募された、宇宙戦略基金事業に採択された旨をお知らせいたしました。

本日付で、宇宙戦略基金事務局より交付決定通知書を受領し、詳細の公表が可能になりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 交付決定の内容

募集機関	JAXA
技術開発テーマ	月極域における高精度着陸技術
採択された技術開発課題の名称	南極近傍への高精度着陸と通信中継衛星を用いた極域でのペイロード活動支援
支援上限額	最大 200 億円
当初補助事業期間（※1）	2026 年 4 月 13 日～2028 年 3 月 31 日
当初補助事業期間（※1）交付決定額	116 億円※2

（※1）当初補助事業期間は、事前着手開始日から、最初のステージゲート評価が終了する日の属する年度の 3 月末日までを指す。なお、2028 年 4 月以降の金額については次回以降交付決定のたびに公表となる予定。

（※2）支援上限額は最大 200 億円で変わりありません。今後ステージゲート審査等により変動し得る数字であるため、全額を受領することが現時点で確定するものではありません。

2. 宇宙戦略基金の概要

宇宙戦略基金は、「輸送」「衛星等」「探査等」の 3 つの分野において「市場の拡大」、「社会課題解決」、「フロンティア開拓」の 3 つの出口に向け、スタートアップをはじめとする民間

企業や大学等が複数年度（最大 10 年）にわたって大胆に技術開発に取り組めるよう、宇宙分野の資金配分機関として JAXA に新たに基金を設置し、支援するものです。内閣府及び総務省、文部科学省、経済産業省が策定した宇宙戦略基金の基本方針、実施方針等に基づいて、各省が技術開発テーマを設定しております。（※3）

本基金の第 2 期 3,000 億円分の技術開発テーマの内、当社は「月極域における高精度着陸技術」の公募に対して、技術開発課題「南極近傍への高精度着陸と通信中継衛星を用いた極域でのペイロード活動支援」を提案し、採択され、この度交付決定を受けました。なお、「月極域における高精度着陸技術」の支援内容は、2025 年 7 月の公募開始時において支援期間（最長：5 年程度（※4））や支援規模（総額：200 億円（打上げ・宇宙実証費用を含む）、支援件数：1 件）等が設定されております。

（※3）出典：宇宙戦略基金のホームページ（<https://fund.jaxa.jp/about/>）を参照

（※4）当初補助事業期間は、補助金交付決定日から最初のステージゲート評価が終了する日の属する年度の末日までとなります。

3. 技術開発課題の概要

当社が事業として取り組んでいる月面輸送事業において、月南極近傍への±100m 以内の精度での高精度着陸を可能とする技術を開発します。また、通信中継衛星を活用し、月極域におけるペイロードの輸送・展開及び着陸後の活動支援の実現を目指します。

4. 業績への影響について

本件は 2027 年 3 月期通期連結業績予想に織り込み済のため、今期業績予想に与える影響は軽微であると判断しております。今後、開示すべき事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以上